

みたか環境ひろば 第40号

平成 24 年 7 月 1 日号



牛乳パックで椅子作り

新川中原住民協議会の環境部会の中の環境問題学習会の活動として、去年はペットボトルで椅子を作りましたが、今年は牛乳パックで椅子を作ることにしました。先日その試作をしました。1リットルの牛乳パックでも500ミリリットルの牛乳パックでも、24枚用意します。牛乳パックの大きさによって高さが違うだけで丈夫さは変わりません。子供さんはもちろん、女性でも、男性でも座って壊れません。

作り方にもいろいろありますが、手早く簡単に作るには、牛乳パックを平らに開き、飲み口の方に切り込みを入れて、四角の牛乳パックが三角形になるように1辺を重ねてテープで留めます。これを6個まとめます。同じように6個まとめた物を3つ作ります。先にまとめた6個と次に作った6個2つを一緒にして隙間に三角形の牛乳パックを入れていくと椅子の出来上がりです。

作っている時は、夢中になって気が付いたらまとめる時になっていたという位簡単な作業で出来ます。出来上がった椅子には包装紙を張ったり布をかぶせたり、毛糸で編んでかぶせても楽しいです。また出来上がりは、六角形ですが24個以上くっつけると違った形で出来るのでそれも楽しいです。作ってみてください。私たちも8月末には、子供たちともう一度作ってみます。
(新川中原住民協議会 大平)



三鷹のみちとガーデン 「かもんガーデン」 「みてってガーデン」

連雀住民協議会では、コミュニティ・センター敷地内等の花壇の整備を行っています。また、地域でも環境活動を行っていますので紹介します。JCB西側の通りを連雀通りから南へ約200m進むと、白色の花みずきにつづき、赤いつつじの垣根に囲まれたJCBの隣に、下連雀けやき公園内「かもんガーデン」、南浦地区公会堂内「みてってガーデン」と、ひときわ通行人の目を引く手入れのされているガーデンがあります。このガーデンは、NPO法人「花と緑のまち三鷹創造協会」のご指導、支援のもとGreen Works、NPO birthさんのご協力を得て、花壇ボランティア、近隣の皆様が集い、4回の話し合い(どの様な花壇にするのか夢を話し合い、花壇の形を考え、決めて、花壇のネーミングを決める)を重ねて、5回目に準備より参加された方々と子供さんも加わり、宿根草、1年草等色とりどりの草花を植付けされたものです。通学の小学生が立止まり、花名を話し合ったり、サラリーマンが花を見ながら弁当を食べられたり、大人の方々がカメラを向けて撮影されているのをよく見掛けます。JCB西側の通りにはこの様な緑の木々に囲まれた草花の沢山あるガーデンがあります。

近くを通られましたら、立ち寄られてみられてはとっております。(連雀住民協議会 黒澤)

湧水復活への方法

今から約65年程以前、神田川の源流である井の頭の池は、水は透明で、池に生えている水草も、ゆったりとした流れにしたがい、ゆらゆらと揺れていてその水草の間をコイやフナや色々な魚がゆっくりと泳いでいるのが見えて、何とも優雅な眺めであったことをよく覚えています。また、その頃の池の湧水量は多く、現在湧水が見られるお茶の水の湧水量の十数倍はあったように思えます。また、このような湧水場所が池のいたるところで見られ、比較的大きな湧水場所が七ヶ所もあったと言われていました。それがなぜ現在のように透明感のない濁り水となったのでしょうか。この場所の水生植物は、水を濁らす植物プランクトン(アオコ)が主です。この原因は、栄養塩類の混入か底沼からの溶出など色々なことが考えられますが、特に問題となる一番重要なことは、昔と比較して湧水量が減少したことです。それでは、なぜ湧水量が減少したのか、それは、雑木林や山林、また田畑などが宅地へと開発され、山里近くまで都市化が進み、



それにより道路は、アスファルトやコンクリートで舗装され側溝が完備されたことにより雨水は、側溝を通じて下水処理場やまた、河川から直接海に導かれ、地下への浸透量は減少し、これにより湧水量も減少します。それゆえ湧水量を増加させるには、道路舗装は透水性の良い道路材を使用するか、また屋根に降った雨水も庭の浸透枳に導き地下へと戻すなど、色々工夫をこらして地下水の増加を計れば、やがて地下水は増加し、湧水も昔ほどではないにしても多少の復活も考えられ、さらに皆さん一人一人が雨水の地下への復帰を考え実行すれば井の頭の池の湧水量も増加し、今より透明度も良くなる事が期待できます。(井の頭住民協議会 鈴木)

冬に続きさらなる節電と適電を

東日本大震災をきっかけに、電力不足を補うべく各家庭に節電が定着してきています。皆さんはどのような節電をしているのでしょうか、三鷹市の主婦に聞きました。

Aさん(40代) 契約アンペアを40アンペア(1,092円)から、30アンペア(819円)に変更。電気代を年間3%抑えられたそうです。新築マンションなどはアンペア数を高めにしている場合があり、必要以上の契約アンペアで基本料金を無駄に払っている家庭も・・・。

Bさん(40代) 庭先、玄関燈をホームセンターで売られているソーラー発電に変え、防犯にも役立ち、玄関が明るくなりました。ほかに温水洗浄便座の設定温度を下げました。

Cさん(50代) 古い冷蔵庫(5年前より62%節電)を買い替え、中に市販のビニールカーテンをつけました。庭に緑のカーテンとして朝顔、ふうせんかずらを植えました。

Dさん(50代) 洗濯機の乾燥機の部分を使用しなくしました。部屋の電気もLED電球に交換しました。窓に透明遮光シートをはりました。

自分の家庭に合った契約アンペアを見極めるために、同時に使う電気機器のアンペア数の合計も把握しておくといいですね。昨年に続き緑のカーテンを作る方は連作障害に注意して下さい。ゴーヤはウリ科、朝顔はヒルガオ科、昨年に続いてゴーヤを植えたい方は土壌改良が必要です。ゴーヤのつるのびてきて葉がしっかりするまで花を摘み取り、小さい実も摘み取り、葉が繁ってから実を太らせます。緑のカーテンで少しでも使用電力を減らし、快適に過ごせる工夫を生活の中に取り入れましょう。(小林)

三鷹のみち ～たちばな通り(かえで通り)・天文台通り～

地方活性化が叫ばれ10年くらい経つでしょうか・・・大都市との格差是正が進んできてはいますが今ひとつ進展がみられないのは都市内の各地域についても同じようです。近年、主要な駅自体は移動拠点としての利用価値を高め進化していますが、周辺の商店街では依然として混沌とした閉塞感を感じざるを得ません。必要な小売店はいつのまにか消え大型店でさえ少し前にあった売り場が次に行った時には別の場所にあったり無かったり・・・ある種の店や商品は何種類もあって意外に買い物に時間がかかったり、また場所と値段の整合性に欠けてきたりして、いわゆる「買物困難」はお年寄りだけにあてはまるものでもないようです。駅前通勤通学のための自転車があふれ、そこに買い物客が入り混じり、塾通いをする小中学生が自転車を止める場所がなくて右往左往する姿もよく見かけます。

そんな中、武蔵境の駅から南にのびる「たちばな通り(かえで通り)」は、歩道とは別に新しく自転車道が両側にでき東八道路へと続いています。歩行者にとっても安心で以前よりもゆとりをもって通行できるようになりました。お天気の良い日には街路樹の緑や季節の花が清々しい気分させてくれます。

そして東八道路から「天文台通り」を南にいくと右手に国立天文台があり、そこでは昔ながらの手つかずの武蔵野の森を思わせる光景が見られます。都市の喧騒から少し離れた高台に位置し静寂に包まれた構内は大正期の建物が点在しノスタルジックな雰囲気をかもしだしています。世界規模で静かなる偉業を成し遂げた先人達に思いを馳せながら更に南に下ると野川や大沢の里といった、ここでもボランティアの方々の地道な活動によって自然のアートともいえるすばらしい景観がよみがえっています。

このような貴重な自然を残すためにも政府のいう教育や環境を主軸とした役割分担をすすめ、未来を担う若者達がそれに習って緑を活用する文化や産業が根付き、それが一部商店街に反映されるような、そんな特色ある街づくりができればなあと思いました。(入江)

環境掲示板

夏季自然体験教室「森で遊び、学ぼう！」

主催：三鷹市
日時：平成24年8月16日(木曜日)
午前8時45分集合午後5時解散
場所：フジの森
(西多摩郡檜原村南郷5990-1)
対象：市内在住在学の小学生とその保護者
定員：20名(多数の場合は抽選)
料金：無料
申込先：環境政策課までハガキかメールで
申込(7月20日(金曜日)しめきり)
問合せ：環境政策課(内線2524)

夏休み子ども工作・テコパージュ石線作り

主催：三鷹市
日時：平成24年7月25日(水曜日)
7月26日(木曜日)
午後1時から午後3時半まで
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：小学生以下
定員：各10人(申し込み多数の場合は抽選)
料金：無料
申込先：往復はがきで7月12日(木)必着で
申し込む
問合せ：ごみ対策課(内線2534)

「ティッシュボックスカバー」作り(7月)

主催：三鷹市
日時：平成24年7月18日(水曜日)
午後1時から午後3時半まで
場所：三鷹市リサイクル市民工房
対象：特になし
定員：8人(申し込み多数の場合は抽選)
料金：無料
申込先：往復はがきで7月10日(火)必着で
申し込む
問合せ：ごみ対策課
(内線2534)

次回は平成24年10月1日発行です。

編集後記

5月21日の金環日食はよく見え、感動しました。2009年7月22日の皆既日食(当地では部分日食)の元が取れた感じです。太陽と言えば磁気を逆転させ寒冷期に入ると予想されています。地球温暖化と相殺可能なのか興味深いです。過去の地球の気温推移を40万年スパンで見ると気温と二酸化炭素濃度と海水位の三者は相関関係にあります。4回の寒冷期と温暖期があり、二酸化炭素濃度は200ppm～300ppmで推移しています。ところが2010年は390ppmに達しています。別の現象が起きているかもしれません。いずれにしても地球の適正人口は50億人であり、現在70億人に達しています。更に大量生産、大量消費、大量廃棄が問題となっており、各人の地道な活動と他人を思いやる気持ちが大切です。(中野)

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境政策課

電話 0422-45-1151 内線2523・2524

E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。